

運営推進委員会議事録

にこにこリハビリデイサービス

開催日：平成 28 年 9 月 13 日（火曜日）

開催時間：午前 10 時

開催場所：にこにこリハビリデイサービス相談室

参加予定者：地域住民代表 相模町自治会代表 T 様
地域包括支援センター センター長 S 様
事業所代表 デイサービス管理者 長屋 秀吾

検討内容

- ① 運営推進会議の意義について
- ② 当事業所の運営について（実績）
- ③ 当事業所の今後の課題と予定について
- ④ 施設へのご意見、ご要望について

検討内容①運営推進会議の意義について

介護保険サービスの地域密着型事業所は、地域に根ざした事業を行うという役割を担っています。運営推進会議は、事業の透明性・健全性をさらに高めたり、周囲との連携を強化したりする狙いがあります。

地域密着型の事業所は利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、市町村の職員または地域包括支援センターの職員、有識者などにより構成される協議会「運営推進会議」を設置する必要があります。

運営推進委員会では事業所の活動状況を報告し、評価とともに必要な要望・助言を聞きます。

また、事業所が、利用者、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、事業所による利用者の「抱え込み」を防止することも目的としています。

検討内容②当事業所の運営について

開業日：平成 28 年 7 月 1 日

デイサービスの柱：リハビリを軸としたサービスを提供する。但し、最終的な目的は、社会参加である。リタイヤした高齢者（特に男性）は、社会との関わりが持ち難く、引きこもりがちになってしまう。そのような方が、定期的に外出する機会を設けたい。⇒デイサービスに足を運ぶ（外出する機会を設ける）ことをしていただければ、事業所の目的は達成される。いろいろな方に足を運んでいただくための工夫が必要である。

人員配置：施設基準 人員基準 生活相談員 1 名 ヘルパー 1 名 管理者 1 名（機能訓練指導員との兼務可）

平成 28 年 7 月 1 日（金）～15 日（金）

機能訓練指導員 1 名（常勤） 生活相談員 1 名（常勤） ヘルパー 2 名（非常勤）

平成 28 年 7 月 18 日（月）

機能訓練指導員 1 名（常勤） 生活相談員 1 名（常勤） ヘルパー 1 名（非常勤）

平成 28 年 8 月 1 日（月）

機能訓練指導員 1 名（常勤） 生活相談員 1 名（常勤） ヘルパー 3 名（非常勤・内 2 名は未経験者）

9 月 1 日（木）～ 職員の配置はおおむね、4 名（管理者含む）/1 日にて対応。

利用者推移：

平成 28 年 7 月末日 登録者数 8 名（要支援 1 名、要介護 7 名）

平成 28 年 8 月末日 登録者数 11 名（要支援 1 名、要介護 10 名） 利用者数は概ね 2 名/1 日

平成 28 年 9 月 6 日 登録者数 15 名（要支援 3 名、要介護 12 名）

事故等の発生：

火傷 1 件（詳細は別紙事故報告書にて 28.9.6 越谷市役所介護保険課に報告済）

利用者別担当居宅介護支援事業所：

包括支援センター：1 名 こしがや社協：3 名 なごみの郷：2 名 ジャパンケア：1 名

にじ：3 名 介護屋本舗：1 名 ハーモニー：1 名 コスモ：1 名 応援プラン：1 名

キャンベルホーム：1 名

デイサービスでの活動状況

- ・リハビリ（個別リハ、マシン等の自主リハ、トランプ・折り紙・計算等の脳トレ）
- ・入浴
- ・外出訓練を兼ねた、外食（越谷レイクタウン）
- ・アロマセラピー（余暇、リラクゼーション、認知症予防・・・）

検討内容③当事業所の今後の課題・予定

今後の課題：

- ・職員の教育 非常勤のヘルパー3 名のうち、2 名は未経験者である。人員の数のみを考えては、事故につながる恐れあり。また、利用者にとって有効なサービスの提供には疑問が残る。そのため、特に未経験の職員に対する教育の実施が不可欠である。現在は主に OJT（現場で適宜指導を行う）にて対応している。
- ・足を運んでいただく事業所になる為、どのようなサービスを提供すべきかを常に検討していく必要がある。
- ・利用者の増加の鈍化 法人経営の悪化が懸念される。既存の利用者、雇用の確保のためにも、利用者の増加が必須。まずは、法人としての損益分岐点である、7 名/1 日のに確保が急務。
デイサービスの体験の申し込みは良好。だが、体験から本利用に至らないケースが増えている。
原因の分析を要す。

今後の予定

人員配置：職員の配置は 4 名/1 日を予定

活動予定

- ・利用者のリハビリになる、かつ、楽しみを見つけられるような活動を検討していく。（料理、製作物の充実、仕事の提供（特に男性））

アドバイスの内容：

地域包括支援センター S 様より

- ・活動内容に写真を添付した方がわかりやすい。
- ・事故報告書は会議後回収する予定でも、利用者の個人情報かわからない様に配慮をする必要がある。

- ・開催の期間の確認 概ね1回/6か月の開催で良いはずなので、市役所にて確認要す。
- ・会議には民生委員の参加も依頼した方が良い。

自治会代表 T様より

- ・民生委員様の氏名等を教えて頂く。
- ・自治会のサロンにも参加し、施設の概略を説明すると良いのではないかと。

以上